

「市民みんなで盛り上げて」

功績顕彰 和田勇。パネル展開幕

御坊市と和田勇顕彰会主催の「和田勇パネル展」が10日から市役所1階ロビーで始まった。27日まで展示し、その後、御坊寺内町会館で展示する。1964年の東京五輪招致に貢献した名誉市民第1号の和田氏の功績を顕彰し、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリンピック断続〜」に登場させてもらえるよう市民の気運を盛り上げる。

柏木征夫市長や顕彰会長の吉田擴御坊商工会議所会頭ら関係者が出席してお披露目。柏木市長は「これだけの資料をよく集めていただいた。市民の皆さんに和田氏の功績を知っていただきたい。大河ドラマに取り上げてもらえることを期待しています」。吉田会頭は「良い機会なので多くの皆さんにご覧いただき、市民みんなで盛り上げていただきたい」と話した。

パネルは顕彰会の協力で県が作成し、今年2月に東京の明治大学駿河台キャンパスで開いた県偉人顕彰シンポジウム「和田勇シンポジウム」会場に展示したものを借用（2年間）。20枚あり、4歳から9歳まで父の故郷・名田町祓井戸で過ごした幼少期をはじめ、戦

後間もない49年の全米水泳選手権大会に参加した古橋広之進氏ら選手団を自宅に泊め、献身的に世話したこと。
東京五輪招致では私費を投じて夫婦で中南米やヨーロッパ諸国を訪ね、支持を呼びかけ、最下位の下馬評を覆して開催を実現したと。メキシコ五輪やロサンゼルス五輪、札幌冬季五輪の誘致に尽力したこと。晩年は福祉事業に力を注ぎ、日系人高齢者のための日系引退者ホームの建設に奔走したことなどを分かりやすく紹介している。



パネル展を見る柏木市長、吉田会頭